

コンラッドからトランプまで ～ 英文学が切り開いた私の道

コンラッドのように世界が見たいと世に出た松本方哉氏は、TV 局の報道ジャーナリスト、特派員、編集長、解説委員、キャスターなどをする中で 40 カ国を超える国を訪ね、冷戦の終わりを取材し、湾岸戦争、2001 年同時多発テロやイラク戦争を報道し、コンラッドが描き出した TURN OF THE CENTURY「世紀の変わり目」を自分の目で見てきました。その時頼りになったのが上智の精神 For Others With Others。最後に辿り着いた最近のカトリック洗礼とドナルド・トランプ 2.0 政権までオフレコ（講演内だけで明かす話）も折り込みながら、一人のソフィアンが見た世界の 40 年を語ります。



ゴルバチョフ氏と本人

【プロフィール】

ジャーナリスト。上智大学卒業後、1980 年フジテレビに入社。報道局記者として首相官邸や防衛庁担当、ワシントン特派員などを務める。湾岸戦争、米同時多発テロ、アフガン戦争、イラク戦争などでは情報デスク、解説委員を務めた。2003 年、報道番組「ニュース JAPAN」のメインキャスターに就任。専門は日米関係、米国政治と米国外交、国際安全保障問題。妻の介護体験を機に、医療・介護問題にも取り組む。日本外国特派員協会会員、日本メディア学会会員、白百合女子大学講師。著書に『突然、妻が倒れたら』（新潮文庫）「トランプ VS. ハリス アメリカ大統領選の知られざる内幕」（幻冬舎新書）がある。

日時 7 月 19 日（土）

13 時から 15 時 30 分

場所 ソフィアンズクラブ会議室

懇親会参加費 2000 円（学生無料）

英文学科卒業生以外の方も大歓迎

ソフィア会 web サイトからお申し込みください

同窓会会報誌第 3 号が発行されます！

お問い合わせ：英文同窓会 eibun-alumni@sophiakai.gr.jp